

## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ネクシーズグループ

コード番号 4346 URL <http://www.nexyzgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 松井 康弘

TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日

平成28年6月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	6,685	56.1	769	248.7	752	196.0	355	150.1
27年9月期第2四半期	4,282	15.0	220	232.0	254	343.8	142	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 492百万円 (215.1%) 27年9月期第2四半期 156百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	28.40	26.86
27年9月期第2四半期	11.15	10.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	11,147	6,472	38.5
27年9月期	10,906	8,257	40.1

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 4,290百万円 27年9月期 4,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年9月期	—	5.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	8.0	1,350	33.3	1,350	30.8	750	△10.9	59.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ブランジスタゲーム、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	13,413,640 株	27年9月期	13,413,640 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	1,009,430 株	27年9月期	879,530 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	12,511,964 株	27年9月期2Q	12,742,864 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢が改善傾向で推移した一方で、新興国経済や資源国をはじめとする海外経済の不透明感が増した事に加え、円高・株安が進行し、依然として先行きは不透明な状況にあります。GDP伸び率は、平成27年10月～12月に0.3%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比△0.1%～0.1%の間で推移し、概ね同水準での推移となりました。

このような状況の下、当社グループは新たな成長段階を迎えております。そのため、グループ経営体制を強化し、拡大事業及びその周辺領域へ重点的に投資することで、企業価値の最大化を図っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、グループ全体の中でもLED照明レンタルサービスが業績を大きく牽引しております。高い専門性や、顧客ニーズに合わせたきめ細かい対応が信頼を得ており、導入件数が順調に増加しております。その他の業務におきましても全体として好調に推移しております。一方で、新たなサービスの開始や、新商材の選別など、将来の成長に向けた施策にも積極的に取り組んでおります。

これらの結果、売上高6,685百万円（前年同四半期比56.1%増）、営業利益769百万円（前年同四半期比248.7%増）、経常利益752百万円（前年同四半期比196.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は355百万円（前年同四半期比150.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

## [ライフアメニティ事業]

ライフアメニティ事業では、主にLED照明レンタルサービスの利用者獲得業務及びLED照明の販売、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供並びに、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務等を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、LED照明レンタルサービスにおいて、照明環境や設置工事に関する専門性をより一層高めることで、コンサルティング力を強化しております。また、市場における同サービスの認知度が増しており、紹介案件の増加や営業効率の向上に繋がっております。そのほか、照明以外の各種設備におけるレンタルサービス導入実施に向けたテストマーケティングを行っております。その他のインターネット接続サービス等についても概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、ライフアメニティ事業は、売上高4,195百万円（前年同四半期比115.2%増）、セグメント利益924百万円（前年同四半期比231.2%増）となりました。

## [ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、企業や店舗等の個人事業者向けに様々な製品・サービスの販売促進支援業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、金融商品仲介業務において証券取引に伴う手数料収入が堅調に推移いたしました。電子雑誌業務では、電子雑誌の制作受託案件及び広告掲載数が好調に推移いたしました。また、各種メディアへの露出を増やすことで電子雑誌の認知度強化に努めてまいりました。その他のインターネットを活用した企業の販売促進支援業務では、ECサイトを中心としたウェブサイトの制作・運営、クライアント企業の公式アプリの開発・配信、キュレーションサイト（注）の制作等、幅広い業務を受託し、受託件数が好調に推移いたしました。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,440百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益258百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

（注）キュレーションサイトとは、情報のあるテーマに基づいて収集し、それ自体にコンテンツとしての価値を持たせて共有するウェブサイトのこと。

## [文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、毎年成人式で安定して行われる着付け業務を関東地域中心に実施したことに加え、平成28年2月にきものクイーンコンテストを開催したほか、各種イベントでの着付け業務、袋帯のキャンペーン販売、大学卒業式の袴着付け業務等を行いました。一方で、経営効率化と費用の適正化にも努めております。

これらの結果、文化教育事業は売上高1,062百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益46百万円（前年同四半期比823.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は11,147百万円となり、前連結会計年度末に比べて241百万円の増加となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は8,329百万円となり、前連結会計年度末に比べて338百万円の増加となりました。これは主に、LED照明レンタルサービスやLED照明の販売が好調に推移したことに伴う受取手形及び売掛金が858百万円増加した一方で、子会社株式取得に係る支出等により現金及び預金が353百万円、子会社の課税所得が増加したことによる繰越欠損金の解消等により繰延税金資産が153百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は2,817百万円となり、前連結会計年度末に比べて97百万円の減少となりました。これは主に、出資金の分配により投資有価証券が92百万円、敷金及び保証金が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は3,160百万円となり、前連結会計年度末に比べて564百万円の増加となりました。これは主に、シンジゲートローン契約を結んだことにより1年内返済予定の長期借入金が242百万円増加したこと、合わせて業容の拡大に伴い買掛金が143百万円、解約調整引当金が134百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,515百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,461百万円の増加となりました。これはシンジゲートローン契約を結んだことにより長期借入金（1年内返済予定を除く）が1,457百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,472百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,784百万円の減少となりました。主な内訳は、子会社株式取得等に伴い非支配株主持分が1,708百万円減少したことによるものであります。

以上により流動比率は263.6%となり前連結会計年度末比44.3ポイント減少いたしました。株主資本比率は38.5%となり前連結会計年度末比1.6ポイント減少いたしました。一方で、時価ベースの株主資本比率は108.5%となり前連結会計年度末比7.7ポイント増加いたしました。

b. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は3,366百万円となり、前連結会計年度末残高3,720百万円と比べて353百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は190百万円(前年同四半期は13百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益754百万円、業績連動給与引当金の増加額150百万円、解約調整引当金の増加額134百万円をそれぞれ計上した一方で、売上債権の増加額858百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は49百万円(前年同四半期は76百万円の収入)となりました。これは主に、出資金の分配による収入99百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円、敷金及び保証金の差入による支出13百万円がそれぞれあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は593百万円(前年同四半期は236百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,700百万円があった一方で、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出2,300百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月13日発表時の通期業績予想に変更はございません。詳細は、以下のとおりであります。

[ライフアメニティ事業]

ライフアメニティ事業では、LED照明レンタルサービスの利用者獲得業務、LED照明の販売及びインターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供並びに、DNA解析に基づく健康コンサルティング業務等を行っております。

LED照明レンタルサービスの利用者獲得業務及びLED照明の販売においては、営業人員の採用強化や営業所を新設したことにより、引き続き好調に推移する見込みであります。インターネット接続サービス「Nexyz.BB」については、新規会員獲得の営業を行わず、ISPサービス会員からの毎月の利用料収入で運営することで安定した収益が見込まれます。

DNA解析に基づく健康コンサルティング業務につきましては、引き続きエステサロンを中心にDNA解析キットの取扱店を増やしてまいります。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、法人や個人事業主を対象に様々な製品・サービスの販売促進支援業務を行っております。企業から委託を受けて発行する電子雑誌制作業務並びに新規広告クライアントの獲得業務、その他のインターネットを活用した各種販売促進支援、金融商品仲介業務を行っております。

電子雑誌については、制作受託案件の増加を目指すほか、営業人員の増加及び新たな電子雑誌の発行により、広告クライアント数の増加を目指してまいります。その他のインターネットを活用した販売促進支援につきましても、既存案件の継続や新規受注により、安定した収益が見込まれます。金融商品仲介業務では、収益基盤である証券売買手数料収入の強化を目的とした営業施策を展開していく予定であります。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売を行っております。

同事業では今後、きもの着付け教室等の日本の伝統文化に関する習い事への認知度や関心を高めるため、様々なイベントを企画してまいります。また、若い世代への訴求も強めていくことで、生徒数の維持・増大を図ってまいります。また、経費削減や業務の効率化等の経営体制の見直しにより、収益力の強化を図ってまいります。



2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社ブランジスタゲームを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は15,542千円増加し、税金等調整前四半期純利益は23,980千円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末のれんが295,284千円、資本剰余金が271,304千円減少しております。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,720,676	3,366,951
受取手形及び売掛金	3,327,654	4,186,209
商品	193,820	215,582
未収入金	368,099	331,562
繰延税金資産	282,624	129,436
その他	216,213	210,870
貸倒引当金	△117,867	△110,634
流動資産合計	7,991,222	8,329,979
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	148,066	141,043
その他（純額）	126,770	142,718
有形固定資産合計	274,837	283,761
無形固定資産		
のれん	153,963	145,812
その他	111,091	104,263
無形固定資産合計	265,054	250,076
投資その他の資産		
投資有価証券	1,415,852	1,323,409
敷金及び保証金	453,132	449,185
その他	593,888	597,822
貸倒引当金	△87,757	△86,259
投資その他の資産合計	2,375,115	2,284,157
固定資産合計	2,915,007	2,817,995
資産合計	10,906,230	11,147,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	707,297	850,353
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	-	242,760
未払金	517,457	502,810
未払法人税等	205,905	132,477
解約調整引当金	226,294	361,231
業績連動給与引当金	-	150,000
その他	338,617	320,736
流動負債合計	2,595,572	3,160,371
固定負債		
長期借入金	-	1,457,240
その他	53,500	58,083
固定負債合計	53,500	1,515,323
負債合計	2,649,072	4,675,694
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,189,156	1,189,156
資本剰余金	1,134,423	863,119
利益剰余金	2,547,385	2,823,988
自己株式	△481,137	△578,990
株主資本合計	4,389,828	4,297,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,234	△6,679
その他の包括利益累計額合計	△14,234	△6,679
新株予約権	2,162	10,436
非支配株主持分	3,879,399	2,171,248
純資産合計	8,257,157	6,472,280
負債純資産合計	10,906,230	11,147,974

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	4,282,133	6,685,641
売上原価	2,436,870	4,018,309
売上総利益	1,845,262	2,667,332
販売費及び一般管理費	1,624,731	1,898,328
営業利益	220,530	769,004
営業外収益		
投資事業組合運用益	18,986	-
持分法による投資利益	10,497	8,118
その他	5,816	2,858
営業外収益合計	35,300	10,976
営業外費用		
支払利息	936	2,205
投資事業組合運用損	-	12,400
融資手数料	-	10,500
その他	519	2,051
営業外費用合計	1,456	27,158
経常利益	254,374	752,822
特別利益		
固定資産売却益	-	1,666
特別利益合計	-	1,666
特別損失		
固定資産除却損	8,369	-
特別損失合計	8,369	-
税金等調整前四半期純利益	246,004	754,489
法人税、住民税及び事業税	74,656	115,915
法人税等調整額	△3,565	153,316
法人税等合計	71,091	269,231
四半期純利益	174,913	485,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,857	129,936
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,056	355,320

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	174,913	485,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,525	7,554
その他の包括利益合計	△18,525	7,554
四半期包括利益	156,387	492,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,530	362,875
非支配株主に係る四半期包括利益	32,857	129,936

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	246,004	754,489
減価償却費及びその他の償却費	68,578	63,256
のれん償却額	8,587	8,150
解約調整引当金の増減額(△は減少)	11,247	134,937
業績連動給与引当金の増減額(△は減少)	-	150,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,365	△8,730
受取利息	△1,598	△1,092
支払利息	936	2,205
持分法による投資損益(△は益)	△10,497	△8,118
融資手数料	-	10,500
投資事業組合運用損益(△は益)	△18,986	12,400
固定資産除却損	8,369	-
売上債権の増減額(△は増加)	179,875	△858,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171,923	△20,054
仕入債務の増減額(△は減少)	△207,083	143,055
その他	△136,794	△7,473
小計	△3,918	374,971
利息及び配当金の受取額	1,302	1,878
利息の支払額	△959	△2,197
法人税等の支払額	△60,978	△184,392
法人税等の還付額	51,264	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△13,289</b>	<b>190,260</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,980	△3,284
投資有価証券の売却及び償還による収入	49,926	-
出資金の分配による収入	71,700	99,000
有形固定資産の取得による支出	△12,426	△25,070
無形固定資産の取得による支出	△19,241	△17,146
敷金及び保証金の差入による支出	△15,253	△13,296
敷金及び保証金の回収による収入	12,630	13,401
その他	△7,636	△4,484
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>76,719</b>	<b>49,118</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	-
長期借入れによる収入	-	1,700,000
新株予約権の発行による収入	-	8,297
非支配株主からの払込みによる収入	-	186,397
配当金の支払額	△63,687	△62,636
自己株式の取得による支出	△848	△123,095
自己株式の処分による収入	1,892	9,143
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△2,300,017
その他	△673	△11,192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>236,683</b>	<b>△593,103</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>300,113</b>	<b>△353,724</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,724,362	3,720,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,024,475	3,366,951

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフアメリ ティ事業	ソリューショ ンサービス 事業	文化教育 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,948,143	1,201,183	1,132,806	4,282,133	—	4,282,133
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,349	38,161	173	39,683	△39,683	—
計	1,949,492	1,239,344	1,132,979	4,321,817	△39,683	4,282,133
セグメント利益	279,235	254,204	5,027	538,467	△317,937	220,530

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,937千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフアメリ ティ事業	ソリューショ ンサービス 事業	文化教育 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,194,733	1,428,367	1,062,540	6,685,641	—	6,685,641
セグメント間の 内部売上高又は振替高	367	12,517	—	12,884	△12,884	—
計	4,195,100	1,440,885	1,062,540	6,698,526	△12,884	6,685,641
セグメント利益	924,696	258,676	46,412	1,229,786	△460,781	769,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△460,781千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。